

「介護福祉士のお仕事紹介」パンフレットの発行と学校への講師派遣

NPO法人東京都介護福祉士会の教育支援事業

東京都介護福祉士会は、介護福祉士の資質の向上と、介護に関する知識・技術の普及を図ることを目的として、平成6年に設立、平成15年にNPO法人格を取得した団体です。国家試験に合格して資格を取得した方や、介護福祉士養成校を卒業した方を対象とした研修を行うとともに、後継者を育成するための資格取得を目的とした講座も実施しています。

昨年度、介護福祉士の仕事について紹介するパンフレットを作成し、都内の学校に配付しました。「笑顔を支える、笑顔で支える」と題して、介護福祉士の仕事内容、若手介護福祉士のインタビュー等が掲載されています。

阿久津まち子さん、小峰良子さん(NPO法人東京都介護福祉士会副会長)にお話を伺いました。

▶パンフレットを作成しようと思われたきっかけ

介護福祉士の仕事は、高齢者や障害のある方の生活すべてを助けてあげることはありません。誰もが自分らしく尊厳を持って生きていくために、その方ができること、できないことを見極め、介護計画を作成し、その計画に沿って介護を実施していきます。また、介護をする家族の負担を和らげるために、家族の相談にのることも仕事です。

人に深く寄り添い、笑顔のあふれるとても楽しい仕事なのですが、介護福祉士はきつい仕事、というイメージが先行しがちですので、介護福祉士について正しく理解していただくためにパンフレットを作成しました。



▶都立高校でも介護体験の授業を実施

先日伺った高校では、福祉体験というテーマの授業の中で、高校生たちに介護の体験をしてもらいました。体験する内容については学校と打合わせ、ベッドからの起き上がり介助と、椅子から立ち上がる時の介助の2つのコーナーで会員が指導しました。車椅子の操作や、軍手をはめて財布から小銭を出すなどの他のコーナーは、先生や地域の方に指導してもらいました。短い時間の体験でしたが、この体験の中で、例えばコンビニのレジで時間がかかる高齢者の方にイライラしない気持ちを高校生が持ってくれればと思います。

▶これからの教育支援事業について

学校では、実際の介護体験も含めながら、介護福祉士の仕事について紹介する授業ができればと思っています。実際に施設や地域で活動している介護福祉士、特に若い介護福祉士の話を、中高生に伝えたいですね。

また、昨年から11月に開催している「介護のコト体験フェア～知って得するプロのワザ～」の実行委員会*に参加しています。当日は入浴・移乗(移動)・移せつなどの介護のポイントについて、プロのコツを交えてのデモンストレーションを東京都介護福祉士会が行う予定です。他にも体験コーナーや福祉の仕事相談コーナー、介護ロボットの紹介もありますので、是非、介護の仕事に関心のある中高生にも来ていただきたいと思っています。

*「福祉の仕事 イメージアップキャンペーン事業」実行委員会(事務局：東京都福祉人材センター)

<http://www.tcs.w.tvac.or.jp/activity/jinzai.html>



昨年の「介護のコト体験フェア」の様子

都立高校で指導していただいた入野直子さんに伺いました。

足を骨折した友人が椅子から立ち上がる時に、ただ手を引っ張るだけではなく、どのタイミングでどのように手を貸したら立ち上がりやすいのか、このような体験から広げて、高齢者や障害のある方の生活について考えていけるように体験内容をつくりました。

私自身は、現在はデイサービスセンターの所長をしていますが、昔、友人からあなたは介護の仕事は向いていない、と言われたことがあります。でも、現在も介護の仕事が続けているのは、どのように支援したらよいのかを見つけ、一緒に頑張っていく、そこに笑顔があるからこそです。この仕事の楽しさを若い人たちに伝えたい、と思っています。



NPO法人東京都介護福祉士会

電話 03-5624-2821 <http://homepage3.nifty.com/to-kaigo/>